

科名 泌尿器科
対象疾患名 尿管がん
プロトコール名 FOLFIRI+Bev(プロイメンド併用)

Rp	形態	ルート	薬品名	投与量	時刻・コメント	1	2	3	4	...	14
1	CV	メイン3-①	生理食塩液	250mL	ルートキープ 残破棄可	↓					
2		側管①	プロイメンド 生理食塩液	150mg 100mL	30分かけて	↓					
3	CV	側管②	アロキシバッグ デキサート注	0.75mg 4.95mg	30分かけて	↓					
4	CV	側管③	アバスチン 生理食塩液	5mg/kg 100mL	医師の指示通り	↓					
5	CV	メイン3-②	レボホリナート注 生理食塩液	200mg/m ² 250mL	2時間かけて	↓					
6	CV	側管④	カンプト注 生理食塩液	150mg/m ² 250mL	2時間かけて	↓					
7	CV	側管⑤	フルオロウラシル注 生理食塩液	400mg/m ² 50mL	急速静注 3～5分	↓					
8	CV	メイン3-③	フルオロウラシル注 生理食塩液	2400mg/m ² ※mL	持続静注 46時間	→					
9	CV	側管	デキサート注 生理食塩液	3.3mg 50mL	30分かけて		↓				
10	CV	側管	デキサート注 生理食塩液	6.6mg 50mL	30分かけて			↓			
11	CV	メイン	デキサート注 生理食塩液	6.6mg 50mL	30分かけて				↓		

※生理食塩液の量はフルオロウラシルの量により決定する。

1クール＝14日

～MEMO～

催吐レベル3(30%以上90%未満)

＜カンプト＞

骨髓機能抑制による致命的な副作用の発現を回避するために、特に以下の事項に十分注意すること。

(1). 投与予定日(投与前24時間以内)に末梢血液検査を必ず実施し、結果を確認してから、本剤投与の適否を慎重に判断すること。

(2). 投与予定日の白血球数が3,000/mm³未満又は血小板数が10万/mm³未満の場合には、本剤の投与を中止又は延期すること。

(3). 投与予定日の白血球数が3,000/mm³以上又は血小板数が10万/mm³以上であっても、白血球数又は血小板数が急激な減少傾向にあるなど、骨髓機能抑制が疑われる場合には、本剤の投与を中止又は延期すること。

＜アバスチン＞

アバスチンは生食で希釈。(薬効が落ちる)

アバスチンは初回90分で点滴静注、初回投与の忍容性が良好であれば、2回目は60分で行ってもよい。2回目の忍容性も良好であれば、以降30分投与もできる。

大きな手術(開腹手術等)後28日以内には投与しないこと。